

平成31年度 在学募集

推薦事務の手引き

高校・高専・専修学校高等課程

【事務取扱担当者用】

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団が実施する奨学事業は、勉学意欲がありながら経済的理由により修学に困難があると認められる者に対し、学資の貸与を行うことにより、社会に有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的としています。

公益財団法人 福岡県教育文化奨学財団

目 次

1	平成31年度 在学募集 願書等提出（推薦）に当たって	・・・	1
2	平成31年度 在学募集 推薦者名簿の作成について	・・・	2
3	特別支援学校の注意点	・・・	5
4	専攻科・高等課程の注意点	・・・	6
5	平成31年度奨学事務手続きの流れ（予約募集）（予定）	・・・	7
6	平成31年度奨学事務手続きの流れ（在学募集）（予定）	・・・	8

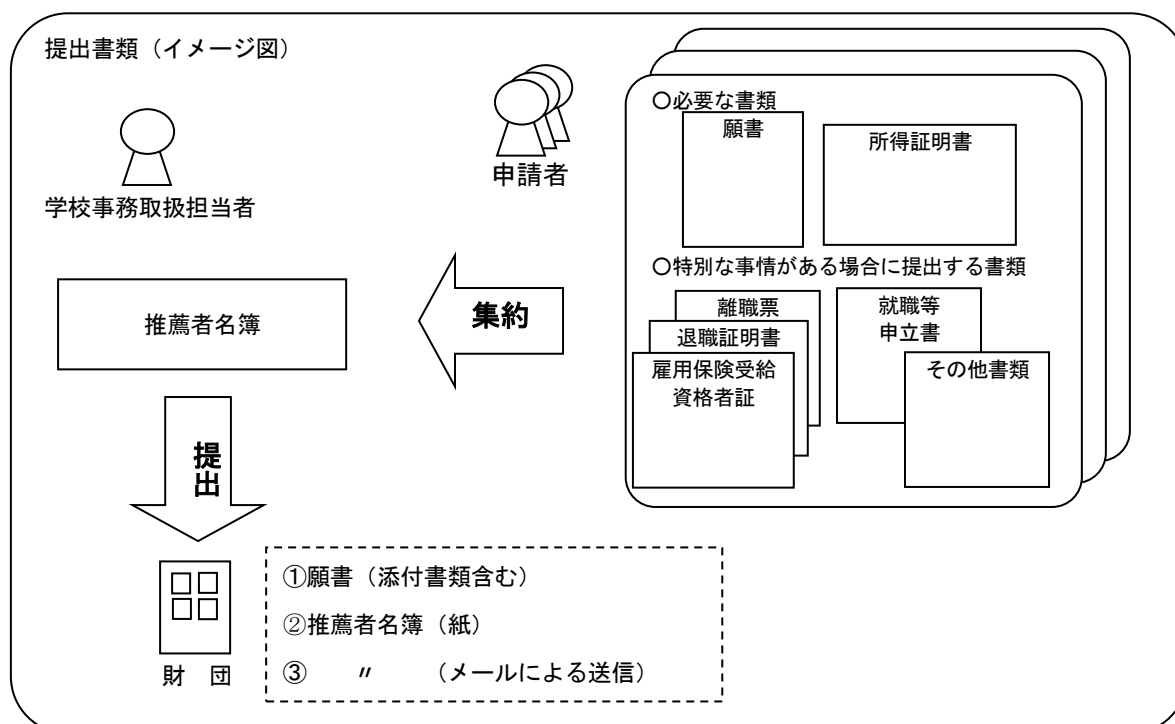
別添 … 学校コード一覧表

1 平成31年度 在学募集 願書等提出（推薦）に当たって

当財団では、奨学金を希望する生徒のうち、学校長から推薦いただいた方を奨学生として選考しております。願書等提出（推薦）にあたっては、次頁で説明する「在学募集推薦者名簿」及び「願書等書類」が必要となりますのでご注意ください。

(1) 提出書類

- ア 平成31年度 奨学金貸与願書（添付書類含む）
- イ 平成31年度 在学募集推薦者名簿
- ウ 平成31年度 在学募集推薦者名簿（メールでの送信データ）



(2) 提出方法

郵送（特定記録）もしくは持参

(3) 提出期限

平成31年5月13日（月）（必着）

(4) 提出先

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団福岡支所

2 平成31年度 在学募集推薦者名簿の作成について

学部 課程名	受付 番号	氏名	フリガナ	生年月日				性別	入学年度		残り 修業 年数
				暦	年	月	日		暦	年	
全日制	1	福岡 奨太郎	フカガ ショウタロウ	平成	15	5	29	男	平成	31	3

【願書表面記入例】

平成31年度奨学金貸与願書

学校受付番号
1

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団理事長 殿

希望 申し込み奨学金の種別 在学募集 緊急募集 申込資格等は募集のしおりを参考にしてください。

種別 をチェックして下さい。

フリガナ **フカガ ショウタロウ** (氏) 生年月日 **昭和 15年 5月 29日**
本人(生徒)氏名 **福岡 奨太郎** (本) (平成)

〒 **812-8575** (電話番号 **092-641-7326**)
現住所 **福岡市博多区東公園7番7号**

在学学校名 **福岡県立 東公園高等学校** 入学年度 **平成 31年入学**

課程名 **全日制・定時制・通信制・専攻科・高等課程** 学年 **1年** 在学

卒業予定年月日 **(和暦) 平成34年 3月卒業予定** 残り修学年数(貸与予定年数) **3年**

貸与月額選択 自宅 学生寮 下宿 **A・B・C**
自宅外 下宿 **A・B・C** ※貸与月額が選択されていない場合、「自宅」区分の「A」を選択したものとします。

保護者の住所 〒 **812-8575** (電話番号 **092-641-7326**)
福岡県 福岡市博多区東公園7番7号

続柄	氏名	年齢	同居別居	備考 学生は学校名及び学年を記入、 31年3月卒業者はその旨記入。	所得の種類	
					給与収入額 千円	その他所得額 千円
本人	上記のとおり					
父	福岡 奨	50	同居			3,484
母	福岡 悦子	48	同居			0
兄	福岡 渡	20	同居	奨学大学2年生		0
姉	福岡 瑞穂	17	同居	東公園高校2年生		0
祖父	福岡 光	71	同居			0
合計						3,484

※ 1 「奨学金を希望するみなさんへ」の記入例をよく読んで黒のボールペン(鉛筆不可)で記入してください。
2 年齢は平成31年4月1日現在で記入してください。
3 備考欄には、○小(中・高・大・専門学校・予備校等)学校○年生等就学状況を記入してください。
4 収入・所得の欄は、市町村発行の所得証明書の金額を記入してください。

※ 世帯人員等集計(上記家族状況欄と一致すること。)

世帯人員	母子家庭児童数	障がい者数	就労者数
6	0	0	1

1 母子家庭児童数は母子家庭(父子等も可)における18歳以下の児童数(年齢は平成31年4月1日現在で判断)。
2 障がい者数は、障がい者手帳(療養手帳)をお持ちの方の数(手帳の写添付)。
3 就労者数は、就労してある方(年金収入のみの方を除く)の数。

通学 区分	貸与 月額 選択	給与収入	その他所得	世帯 人数	母子 家庭 児童数	障が い者 数	就労 者数
自宅	A	3,484		6	0	0	1

当財団の在学募集では、各学校毎に申請者を取りまとめたうえで「平成31年度在学募集推薦者名簿」を作成していただき、推薦していただくことになります。

これらは審査にあたり重要なものとなりますので、誤りの無いようお願いいたします。

(1) 各項目についての説明

- ア 学校コード 「学校コード一覧表」を参照し「半角」で入力する。
推薦者名簿右上の学校コードを一箇所入力することで、残りのコードは自動入力されます。
- イ 学校名 自動入力
- ウ 課程名 セルをクリックすると▼ボタン（プルダウンメニュー）が出るので該当する課程を該当する課程名から選択してください。
課程名…全日制・定時制・通信制・専攻科・高等課程
- エ 受付番号 自動表示されますので、願書右上の学校受付番号欄に該当の番号を記入してください。
- オ 氏名 願書に記載してある本人(生徒)氏名を「全角」で入力する。
- カ フリガナ 願書に記載してある本人(生徒)氏名のフリガナを「半角カタカナ」で入力する。
- キ 生年月日 生年月日を以下の方法で入力してください。
暦（和暦）→▼ボタン（プルダウンメニュー）から選択
年 →2桁の数字を入力
月 →▼ボタン（プルダウンメニュー）から選択
日 →▼ボタン（プルダウンメニュー）から選択
- ク 性別 男・女のいずれかを選択してください。
- ケ 入学年度 入学年度を以下の方法で入力してください。
入学年度 年 →2桁の数字を入力
- コ 残り修学年数 セルをクリックすると▼ボタン（プルダウンメニュー）が出るので該当する年数を選択してください。
入力する値は平成31年4月から卒業までの年数（1年未満の端数は切り上げ）となります。
(例) 全日制の1年生 … 「3」
全日制の2年生 … 「2」
全日制の3年生 … 「1」
定時または通信制の1年生 … 「3」または「4」
高等専門学校の1年生 … 「5」
修業年数が5年半の高等専門学校の1年生 … 「6」

- サ 通学区分 セルをクリックすると▼ボタン（プルダウンメニュー）が出るので該当する通学区分を選択してください。
通学区分 … 自宅・自宅外
※願書に学生寮・下宿のいずれかが選択されている場合は、自宅外を入力
- シ 貸与月額選択 セルをクリックすると▼ボタン（プルダウンメニュー）が出るので該当する貸与月額を選択してください。
- ス 給与収入・その他所得
 願書に記載してある金額を「半角」で入力する。（千円未満は切捨て）
- セ 世帯人数・母子家庭児童数・障がい者数・就労者数
 願書に記載してある人数を「半角」で入力する。
- ソ 備考
 卒業月が3月でない生徒については、卒業年月を備考欄に入力してください。
(例)
 願書卒業予定年月日欄 名簿備考欄
平成34年9月卒業予定 → 平成34年9月卒

(2) 入力上の注意点

「平成31年度在学募集推薦者名簿」の書式は変更しないでください。
セル内の文字が全て表示できない場合は、セル内で改行して全て表示してください。

3 特別支援学校の注意点

当財団の実施する奨学金は都道府県・市町村及びこれらが所管する公益法人等が実施する同様の奨学金と併給することはできません。

(1) 特別支援学校就学奨励費受給について

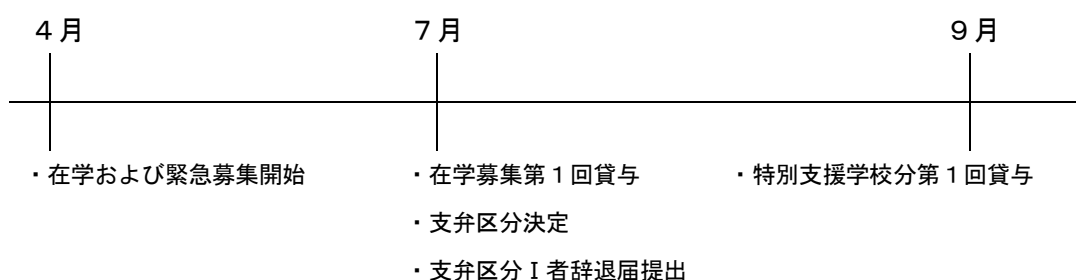
当財団の実施する奨学金は、都道府県・市町村及びこれらが所管する公益法人等が実施する同様の奨学金と併給することはできません。特別支援教育就学奨励費の支弁区分Ⅰに該当する方についても、その就学に係る費用負担割合との関係から、就学奨励費を「同様の奨学金」とみなします。

ところで、特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定については、毎年度7月頃となっています。このため、特別支援教育諸学校高等部の奨学生の奨学金の第1回目の貸与は、支弁区分決定後の9月となります。

この際、奨学金の貸与の内定又は決定を受けていた者のうち、結果的に支弁区分がⅠとなった方については、すみやかに奨学金の辞退届（様式11号）を提出するようお願いします。

なお、この取扱いは、予約募集で内定を受けた方についても同様とします。

(2) 事務の流れ



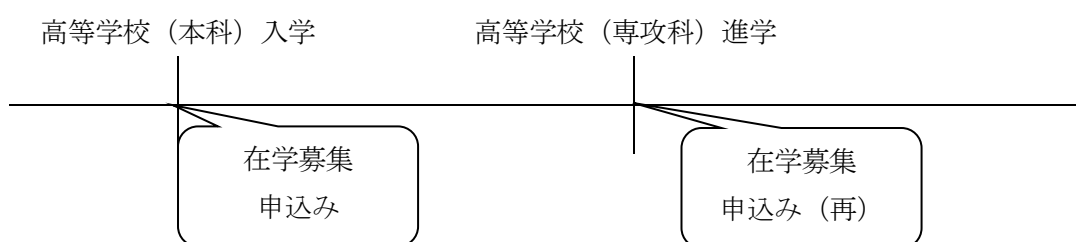
4 専攻科・高等課程の注意点

(1) 専攻科の取扱いについて

高等学校看護科など一部の学校においては、本科（3年）と専攻科（2年）とを併設している場合があります。当財団では、本科と専攻科はまったく別の修学課程とみなしますので、4月からの本科1年生の貸与期間は3年間となり、専攻科で引き続き貸与を希望する場合は、専攻科への進学時に改めて在学募集に申し込んでいただく必要があります。

平成31年度専攻科新1・2年生のうち、奨学金の貸与を希望する場合は、新規に在学募集に申込まれるようにご指導願います。

(例)



(2) 高等課程の取扱いについて

専修学校（高等課程に限る）が当財団の対象校となるには、事前に申請書により申請いただき、当財団より承認を得る必要があります。

新規に当在団の対象校となることを希望する専修学校は、別途通知により、「専修学校高等課程申請書」に「専修学校設置許可証の写（原本証明要）」、「学則の写」及び「入学案内」を添付して奨学金の申込み以前に当在団へ提出をお願いします。

なお、旧日本育英会（現日本学生支援機構）で専修学校（高等課程に限る）の対象校となっていた場合、及び旧日本育英会では対象校ではなかったが、その後当在団より対象校としての承認を得た場合は再度申請する必要はありません。

また、過去に当在団に貸与を受けた期間は今回の貸与期間から除算される（ただし、返還者を除く）こととなりますが、高等学校と高等課程は修学課程が重複いたしますので、過去高等学校において貸与を受けていた方は申請できない場合もありますのでご注意ください。

(例) ①過去に高等学校で3年間奨学金を貸与しているもの

…高等課程の2年間を超過しているので申請不可

②過去に高等学校で6月奨学金を貸与しているもの

…高等課程でも申請可能

（ただし、新1年生は1年6月、新2年生は6か月の貸与期間になります。）

※申請から卒業時の期間（貸与期間）が過去の貸与期間より長いことが申請の条件になります。

5 平成31年度奨学事務手続の流れ（予約募集）（予定）

奨学事務の手続の流れ

	申請者	中学校	財団
選考結果 （誓約書等発送） 【発送済】	選考結果通知書を受領。 内定者は、「入学支度金誓約書」及び「貸与月額選択届」を受領。	申請者に選考結果通知書を配布。 内定者に「入学支度金誓約書」及び「貸与月額選択届」を配布。	中学校に選考結果通知書を配布。 内定者に「入学支度金誓約書」及び「貸与月額選択届」を配布。
貸与準備 ○送付（財団→学校） ・「振込口座調査及び入学支度金誓約書提出依頼」 ・「入学予定学校名報告依頼」 【発送済】 ○提出（学校→財団） ・「振込口座調査及び入学支度金誓約書提出」 ・「入学予定学校名報告」 【3月18日締切】	振込口座情報の提出及び入学支度金誓約書の提出を行う。	振込口座の調査・報告を行う。 内定者の入学予定学校名を取りまとめ、財団へ報告。	振込口座及び入学予定学校名を把握するため、連絡文書を送付する。 振込口座の確定 入学支度金誓約書受領 入学予定学校名の把握
入学支度金貸与 【3月29日予定】	振込が行われる。		貸与可能者に振込
	内定者	高等学校等	財団
貸与準備 ○提出（奨学生→学校） ・「貸与月額選択届」 【4月上旬】 ○提出（学校→財団） ・「入学確認」 【4月中旬締切予定】	「貸与月額選択届」の提出。	奨学生に連絡 「入学確認」を取りまとめ、財団に提出。	内定者の入学を確認するため、連絡文書を送付する。
貸与準備 ○送付（財団→学校） ・「誓約書・借用証書」 【5月中旬】 ○提出（学校→財団） ・「誓約書・借用証書」 【6月上旬】	「誓約書・借用証書」を受領後、必要事項を記入し添付書類をつけて提出。	「誓約書・借用証書」を配布。 「誓約書・借用証書」等を取りまとめ、財団へ提出。	進学先高等学校等に「誓約書・借用証書」を配布し、取りまとめを依頼。 「誓約書・借用証書」等を受領。
奨学金貸与 【6月28日予定】	振込が行われる。		貸与可能者に振込

6 平成31年度奨学事務手続の流れ（在学募集）（予定）

	申請者	高等学校	財団
募集 ○送付（財団→学校） ・募集要項一式送付 【3月中旬】 ○募集（学校→申請者） 【3月中旬～5月上旬】	奨学金を希望する生徒及び保護者は奨学金の申込みを行う。	生徒及び保護者に奨学金の募集を行う。	願書等募集要項を配布。
申請 ○学校集約（申請者→学校） ・願書等提出書類 【4月下旬～5月上旬】 ○推薦及び提出（学校→財団） ・推薦者名簿 ・願書等提出書類 【5月13日】	願書に添付書類を添えて高校へ提出。	申請者の願書等の取りまとめを行い、学校長が推薦をする。	審査を行う。
選考 【6月中旬】 ○選考結果通知書（財団→学校） ・選考結果通知書 ・「誓約書・借用証書」等 【6月下旬】 ○借用証書提出（学校→財団） ・「誓約書・借用証書」 ・印鑑登録証明書 ・住民票 ・通帳の写 【7月上旬】 奨学金貸与 【7月31日予定】	選考結果通知書を受領。決定者は併せて借用証書を受領。 借用証書を印鑑登録証明書、住民票及び通帳の写とともに提出。	申請者に選考結果通知書等を配布する。決定者には併せて借用証書を配布。 借用証書等を取りまとめの上、財団へ提出。	選考結果通知書等を高校等へ配布する。決定者には併せて借用証書を配布する。 借用証書等の確認を行う。
	振込が行われる。		貸与可能者に振込